



フフフ
もうすぐ

パーティ会場に
つくよ
うさみみちゃん



今日のパーティが
終わったら
ご褒美として

うさみみちゃんの
願いを一つ
叶える

.....

そういう約束
だったな



よじやく
ここまて来た!



長かった...

よじやく.....!

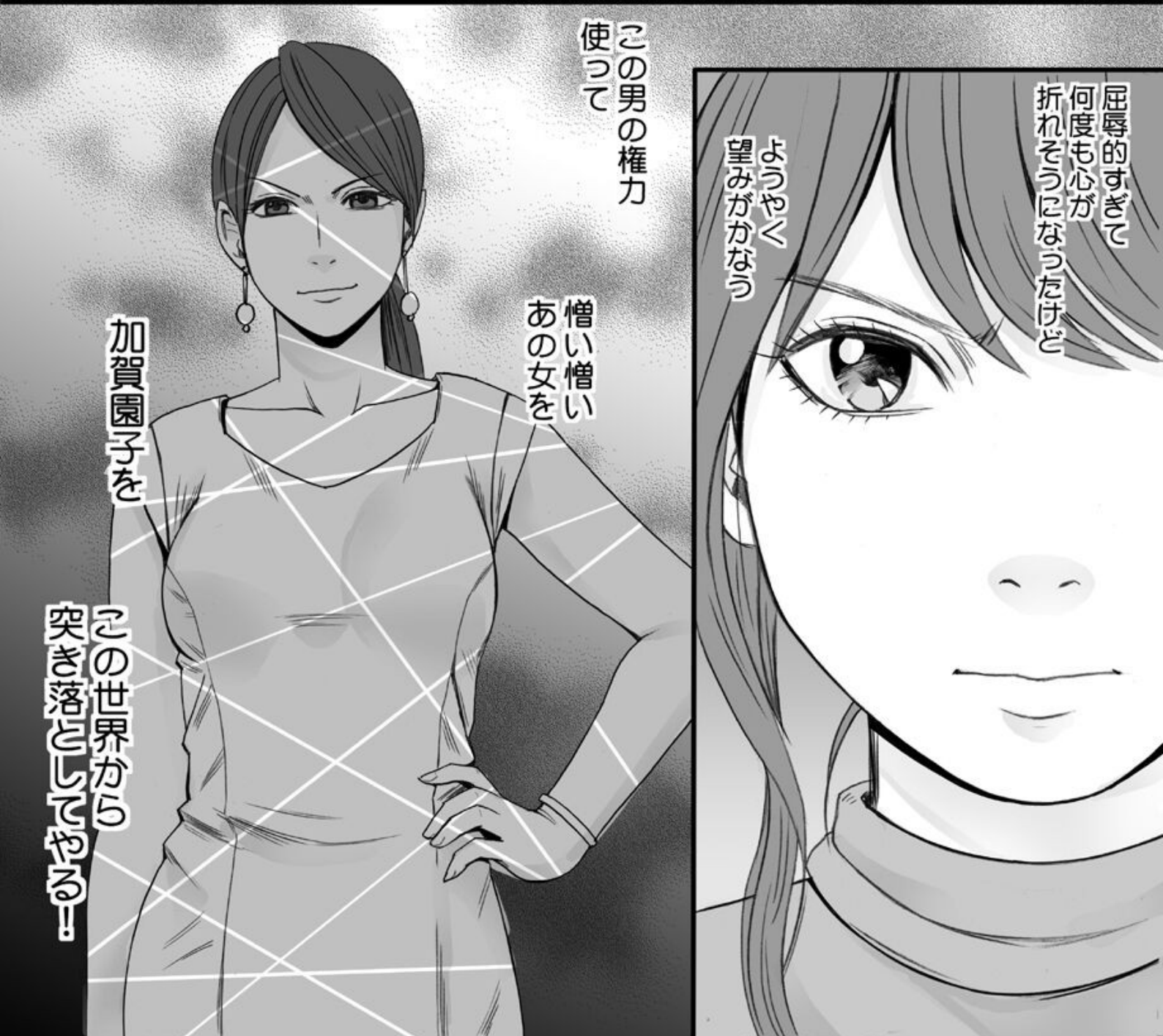


こんな変態老人に
カラダを許して

若い平佐美の身体は
完全に馴らされていた

お…お願い
します…!

イカせて
ください…!!
言いたくもない
セリフを何度も
言わされて



屈辱的すぎて
何度も心が
折れそうになっただけど

ようやく
望みがかなう

この男の権力
使って

憎い憎い
あの女を

加賀園子を

この世界から
突き落としてやる!



さあ
じゃあ行こうか
うさみみちゃん

楽しい楽しい
パーティーにね



本当はイヤ…

恥ずかしい姿を
他の人に
見られるなんて

屈辱でしかない

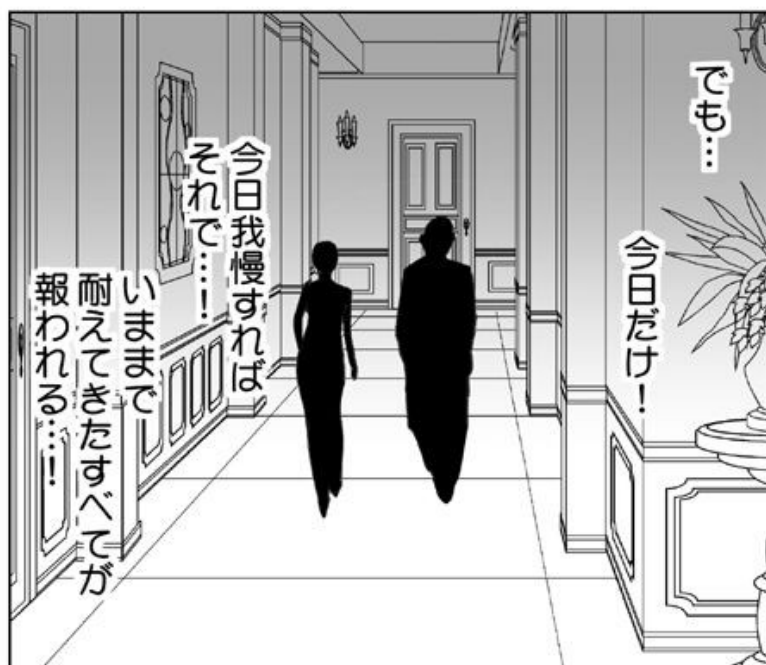


お披露目
パーティー…

いったい
どういうものなの？



これが私の—



でも…

今日だけ！

今日我慢すれば
それで…！！

いままで
耐えてきたすべてが
報われる…！！

最後の戦いなんだから……!





たしか
宇佐美アナウンサー
ですよねぇ?

こいつら全員
みたことがある……!



知っている……!



表向きは
慈善事業なんかやって
クッリンなイメージを
前面に出してるクセに

結局
どいつもこいつも
ヘンタイじゃない!



あの
生意気で有名な
コですよね



権力とかに
なびかなそうな
タイプかと
思ったんですが



フオフオフオ
第5……
いや第6 愛人かな?



さあ
うさみみチャン
始めよう

.....

名前も知らないような
へんな雑魚にやられるよりは
マシ……!

グッ
グッ



でも…パーティって言うから
もっとわけの分からない
乱交みたいなのを
想像してたけど

思ってたよりは
人数も少ないし



それでは
調教の成果を
お見せしましょうか

パーティが
終わるまで我慢すれば
いいんでしょ……!

ノロノロ

フフフ
カラダのほうも
しっかりとし
つけていますよ?

W
♡



みんなの前だからって
恥ずかしがることはない

どうしたんだい
うさみみちゃん



いつものように
イッていいんだよ



いつものように
感じて





んん？
どうしたのかな？

他の人の前だと
恥ずかしいのかな？

今日で終わるー！

この前も
電車の中で
見られながら
イッたじゃないか

今日で終わるんだから！

ズッ
ズッ



こいつら全員
ムカつくけど……！！

おお
すごい感度

もともと
感度がいいほう
なのかな？

ガマン……！！

ガマンしないと……！！

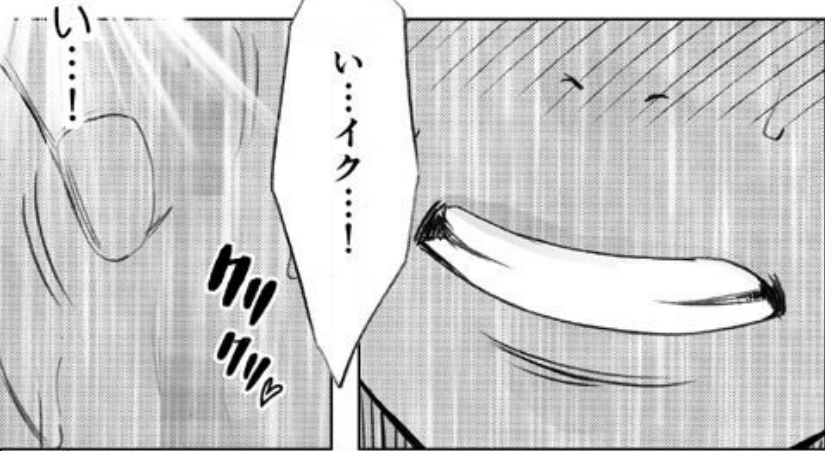
今回は
調教成功
してますなあ



ほら
どうだい
うさみみチャン
きもちイイん
だろう？

私は本当は
こんなので悦んだりするよつな！

安い女じゃない……！



い……イク……！



イクなら
いつものように
イクって
言いなさら





おお
潮吹きまで

例のあのオイルを
使ったのですかな？

すっかり
いやらしい
カラダに
しあがってるじゃないか

どうですか
今回の女は？

はじめは
生意気でガードも
固かったのですが

ここまで
調教できましたよ
グフフ

感度も最大限に
上げておきました
グフフフ

それでは
ここからは

みなさんで
楽しみましょうか

悪趣味な
女体遊びが始まった

そこから
変態老人による



さまざまな
女を弄んできた
老獪なテクニックと

女体を追い込むためだけに
開発された最新鋭の
さまざま道具の
合わせ技で

宇佐美の若いカラダは
いじめぬかれて
翻弄され

息をつく間もないほど
イカされ続けて





まだまだイケる
だろう？

何を言っておる
若いんだから
これくらい



ま…待ってください

ちょっと
休ませて…!



クッ
クッ
クッ



何度も潮を
吹かされて
脱水症状気味に
なるたびに

水の代わりに
媚薬を
飲まされ

クッ
クッ
クッ

時間を追うごとに
カラダは
どうしようもない
状態になっていき

徐々に
正常な判断力も
無くなっていて…



ただ若いだけの
学生とは
わけが違う

やっぱり
地位も名誉もある女を
弄ぶのは格別ですなあ
フフフ

ほら
うさみみチャン

気持ちいいか？

どうだ？

き…気持ちいいです！

ダメだ！

手加減ナシなの！？

こいつら
やじやぎ…！

ちよつとくさ
我慢すれば
いいって
思ってたけど

おっと
ダメだよ
逃げたら

そろそろ
快感が限界に来て
カラダが逃げたがって
きてるみたいなんで

こんなに
イカされ
続けるなんて！

拘束しちゃい
ましようか？



知らなかった…!

あ

休まずに
イカされ続けるのが
こんなにつらいなんて…!

アハハ

アハハ

ガッガッ

も…もう
無理です…!

お願いします…!

快感を支配されて…!

アハハ
アハハ

これ以上は…!

アハハ

アハハ

アハハ
アハハ

オモチャに
されて…!



女としての尊厳が保てなくなる…!!

ズンズンズン

ズンズン

ズンズン

ズンズン



気持ちよくないのか？
それとも
ここでやめて

気持ちいいんじゃないのか？





いいこだ
それでいいんだよ

じゃあ
もっと続けようか



ズンズン!!

無理矢理
イカされ続けるの…!!



もう無理!!





こいつらは
アクマだ…!!

おしり…!!



ここを
逃げ出すのも無理だし…!!

イクのを
我慢するのも
ムリだって分かってるし…!!

びんぎんぎん

びんぎんぎん

どどど

どどど

だったら
今から数時間
心を無にして……!

この拷問に
耐えるしかない!



イクッ！

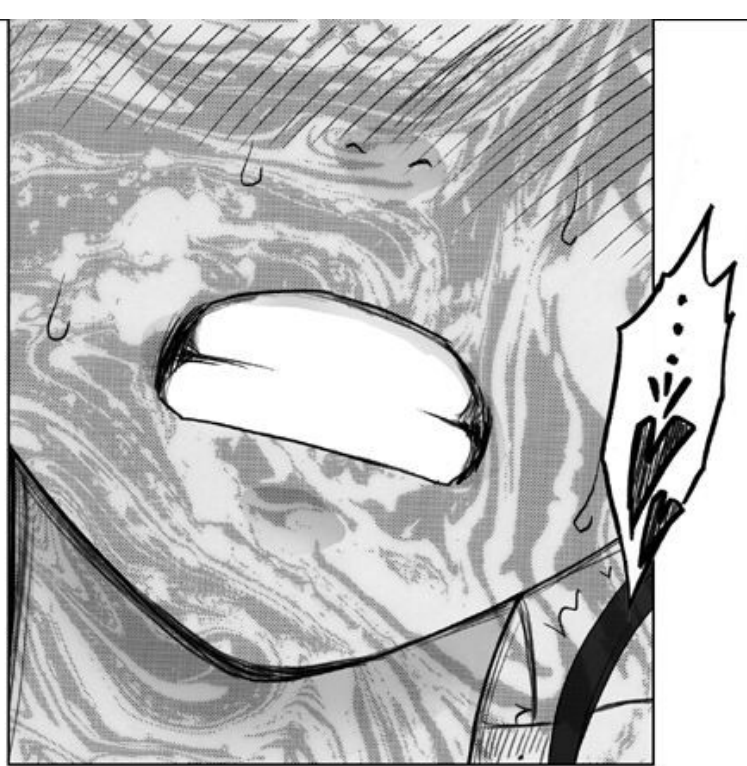
イクッ……！

イキますうッ！



イクウウウツ……!





確かに
快楽を受け入れてはいる

従順にも
なっている

ただ
瞳の奥の
さらにその奥に

消えぬ何か
あるように見えるな

実際は
まだまだ
何か別の目的が
あると見える

なあ？
そうじゃろう

宇佐美みくちゃん？

.....
!!

そうなんですか
先輩？

人を見る目が確かな
先輩がそういうのなら
そうなのかも
しれませんなあ

フオフオフオ

まだまだ修行が
足りぬな
鬼瓦クンよ

こういう女を
完全に墮としたければ

カラダをただ
弄ぶだけでは
ダメじゃ

アイッ

もっと
根本的な部分を—

おっ

ちようどいい
タイミングで
ゲストが
到着したようじゃな

ピンポーン



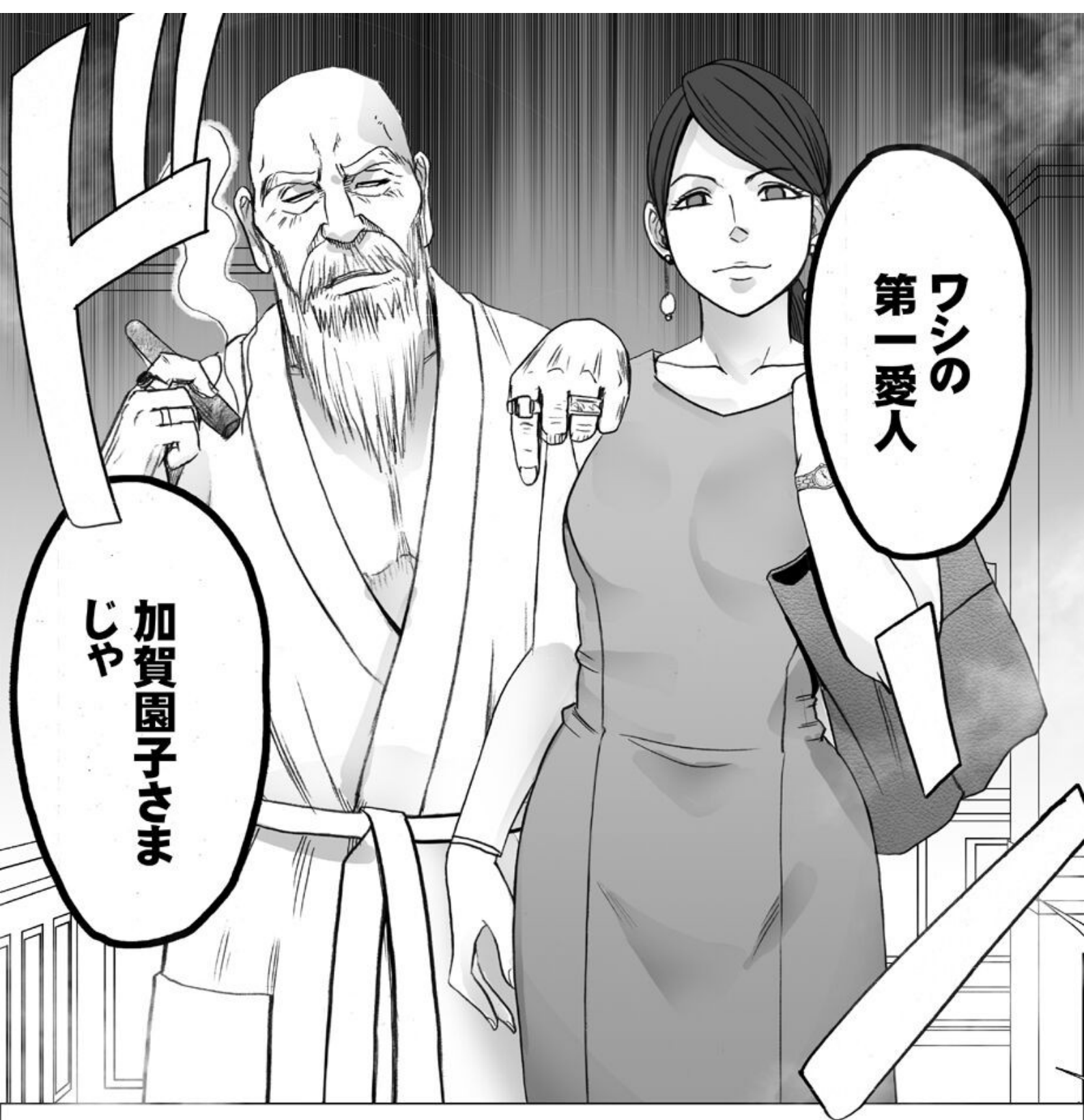
せつかくだから
あらためて

ドクン

宇佐美みくちゃんにも
紹介しておこう

オィイ...

ドクン



ワシの
第一愛人

加賀園子さま
じゃ



えっ...!?!?

.....!

そんな……

そんな……

おお……
これはこれは
今日は先輩の
愛人もお越しだったん
ですね

そんな……

あら
はじめまして

あなたが
鬼瓦ちゃんの
第6愛人の
宇佐美みくさん？
フフフフ

ここからは
ワシの
加賀園子サマにも
参加してもらおうか



どうしたの
うさみみちゃん

びくっ

この女...

この女も権力者に

もっと
気持ちよく
なりましょう

まじっ

余計なことは
いっさい考えずに
ただ気持ちよく
なればいいの

まじっ



私よりも...

それも...



これまで
何日も何日も

全てをぐまかして
屈辱に耐えてきたのだ……!

私が今までガマンしてきたことは
全部……!

えん？
どうした？
抵抗するのや？

愛人
やめたいのや？

抵抗
強要するのや？
おまんこに刺さるわい

強制的に快感を
上げられて
無理矢理イカされる

い……

が……この痛みはあんなに
強烈な快感……

この男の
愛人のフリを
続けて……

愛人の
フリを
続ける

こんなの……

本番中に
ローターを入れられて
イキまひはなってるのだぞ……

びんぼ

なんで私が
こんなことしなきゃ
いけないの……?

ムダなことだったの……!?



フオフオフオ

反応が
変わったかな？

さっきまでと
比べて

ずいぶんと
可愛らしく
なってきたじゃないか

もう…
ダメ…!

びんびん

びんびん

もう

どうすればいいのかわからない…!!

びんびん

びんびん





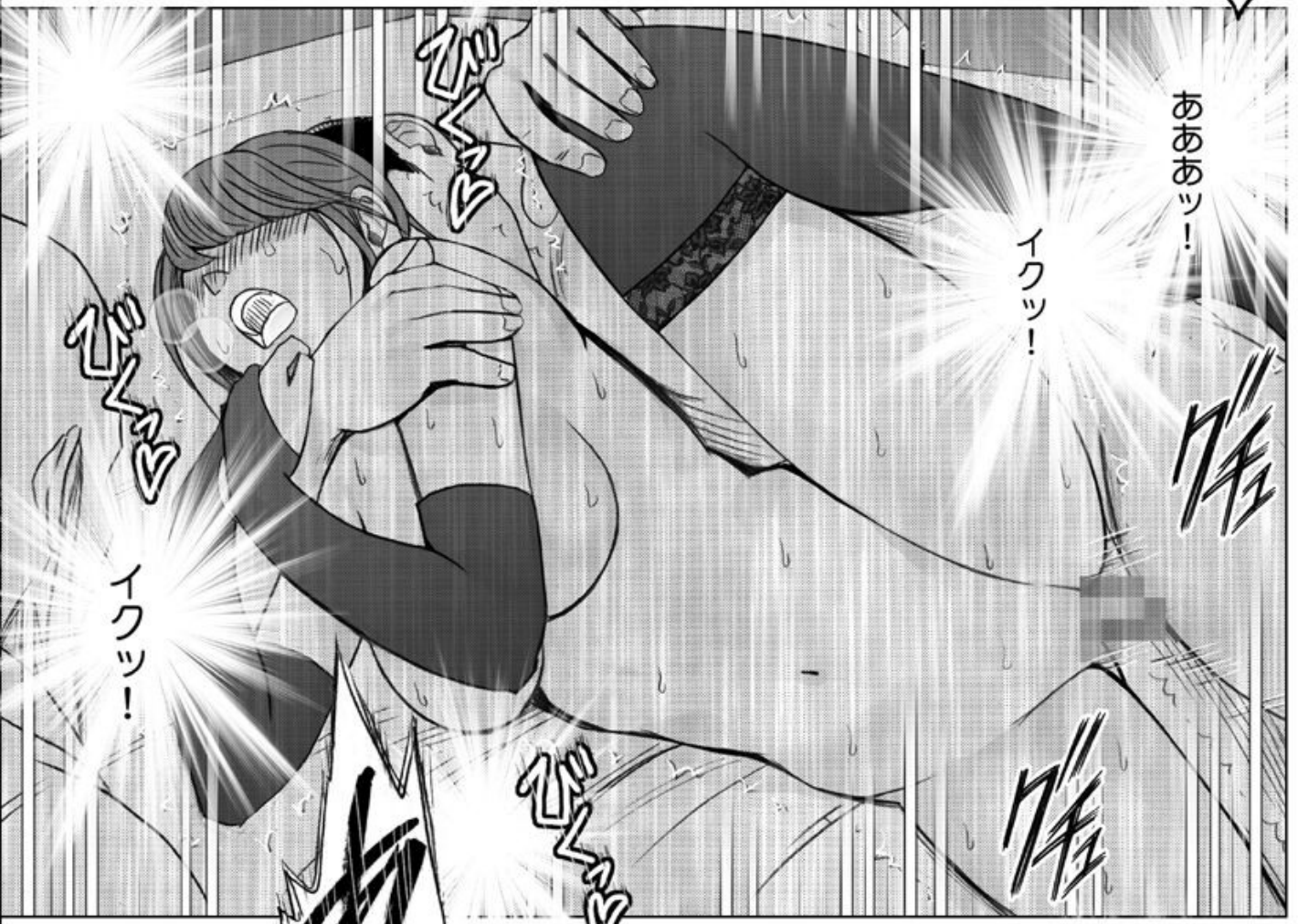
気持ちイイ……!

ダメ……!

あ

あ

意識が保てない……!



あぁあッ!

イクッ!

ぐ

ぐ

びん

びん

イクッ!

崩れるッ!



いままでギリギリのところで

我慢してきた
何が……!

あ

あ

あ



唯一の
目的を失ってしまった
宇佐美には

もう
ただ

心の底から

会長も
いかがですが

この
空いている
お尻の穴のほうに…

気持ちイイという
事実

それだけしか
残っていなかった

それだけに

フフフフ
そうだな

フフフフ
入れてやろうか

すべてを
埋め尽くされてしまった





気持ちいい
ですうッ!

もうダメ!
私の負け……!

ズンズンズンズン

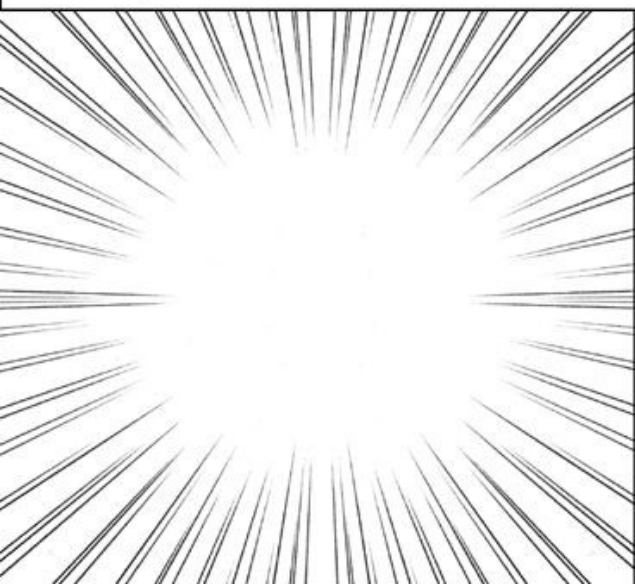


気持ちいい!
気持ちいい!!

もっと……!

気持ちいい!

もっと
イカせてくださいッ!



改めて
心の底から
誓ってもらおうか

宇佐美みくは
みんなの肉奴隷だと



宇佐美みくは…ッ！

みなさんの肉奴隷ですうッ！



あとがき

女子アナウンサーの世界というのは結構バチバチしているということと気が強くて上下関係の争いが好きな性格の人が多という話を女子アナウンサーのお友達からよく聞いているので今回の話を描いてみました。全員が全員そうではないと思いますが…。

とりあえず宇佐美みくと加賀園子の対決シリーズとしては今回のお話でファイナルです。

ただ宇佐美みくというキャラクターはまた別の機会に別のシチュエーションで描いてみたいとは思っています。その場合は今回のお話よりはすこし時間軸が前の話にするかもしくは今回のお話みたいな感じで堕ちてない状態の宇佐美みくとしてifストーリーで描きたいと思います。

ちなみに宇佐美みくはクリムゾン妖魔大戦でもアナウンサー退魔士として活躍中です。

